

高山理化精機株式会社

2023 年度（ 77 期）環境経営レポート

（対象期間：2023 年9月1日～ 2024 年8月31日）

※2024年2月29日までの暫定版



書式：TRK04-2022EAV1.0
作成日： 2022年4月21日
更新日： 2024年4月30日

目 次

項 目	ページ
表紙	1
目次 ご挨拶	2
1.環境経営方針	3
2.組織の概要	4
3.事業・製品の紹介	4
4.環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
5.主な環境負荷の実績	6
6.環境経営目標及びその実績	6
7.環境経営計画の取組結果とその評価	7～13
8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果,並びに違反,訴訟	14
9.緊急事態対応訓練	14
10.代表者による全体の評価と見直し・指示	15

<ご挨拶>



高山理化精機と高山理化グループ会社は
信州の地：長野県松本に本社拠点があります。
アルプスの山々を日々望めるこの地は水清らかで
空気も澄み豊かな自然がある地方都市です。
さらに信州の地は観光県でもあります。

美しき信州そして日本の自然や環境を守るため
高山理化精機の従業員は企業業務活動と伴に
持続可能な目標を掲げた環境保全の取組みを
労働衛生環境などとバランスをとりながら
推進して参りたいと考えます。
2021年8月弊社はエコアクション21の段階的認証の
再認証と長野支店の追加認証・登録をいただきました。
2022年8月 佐久営業所と南信営業所の追加認証
2023年8月 長野県外4拠点を登録を追加認証となり
弊社は全社全拠点での認証・登録となりました。

温度、湿度、高機能機種ではCO₂、大気圧、照度の環境測定が長時間モニタリング可能なおんどりシリーズ

環境経営方針

四季折々に変化する雄大な山並みとそこに源を発するいくつもの清流、そして清冽な空気。私達が事業を展開する信州のこうした恵まれた自然環境は、そこで生活を営む私達のみならず世界の貴重な財産であると考えます。この事を我々は強く認識し「未来へ継続性のある事業活動と自然地球環境との共生」 この実現に向けて全員参加の事業活動により環境負荷の低減に努めると共に、事業活動として環境測定機器・有害物質監視測定器、分析器などのご提案を通じて 環境問題の解決に貢献して参りたいと考えます。併せてSDG'sについても環境活動にとどまらずCSR活動の要素として取組を開始して参りたいと考えます。

<環境保全への行動指針>

- 1． 事業活動に関連する環境関連法規制や当社が同意する要求事項を遵守します。
- 2． 産業廃棄物、リサイクルの推進
- 3． 省エネルギー推進により二酸化炭素排出量の削減
- 4． フロン使用機器廃棄時の適正な処理
- 5． グリーン購入推進などによる環境負荷の小さい製品の採用および提案
- 6． 企業の社会的責任を重視して、サイト内の全従業員にこの方針を周知し実行すると共に意識向上に努めます。
- 7． SDG's の情報入手を積極的に行い取組に向けて活動します。



制定日：2018年12月1日

改定日：2021年3月26日

高山理化精機株式会社

代表取締役社長 松澤 一徳

2.組織の概要

更新日：2023年6月5日

(1) 名称及び代表者名

高山理化精機株式会社 代表取締役社長 松澤 一徳

(2) 所在地

本社 長野県松本市笹賀 5 6 5 2 - 1 8
 長野支店 長野県長野市青木島町青木島乙265-1
 佐久営業所 佐久市塚原980-15
 埼玉ブランチ 埼玉県東松山市幸町9-24 サンシャインヒル105
 南信営業所 上伊那郡南箕輪村鳥居原8296-1 (つちやビル内)
 北関東営業所 栃木県小山市間々田1290-2
 新潟営業所 新潟県長岡市三ツ郷屋町字下川原 3 4 1 - 9
 山梨出張所 山梨県甲斐市島上条747-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

代表者 代表取締役社長 松澤一徳 TEL:0263-25-3111
 環境責任者正 CSR推進室長 赤羽克英 FAX:0263-26-8111
 環境責任者副 CSR推進室 矢島建太郎 河西伸一 Mail: info@takayamarika.co.jp
 事務局担当 CSR推進室 深沢みどり 杉浦理沙 佐藤昌樹

(4) 事業内容

電子計測器・理化学機器・分析機器・試験機等及びシステム・工業用機械の販売、
 計測器・試験機の校正・保守サービス

CAD・CAMソフトウェア等の開発及び販売・導入・コンサルタント

(5) 事業の規模

売上高: 829,000 万円 (2023 年度)

	本社	長野支店	佐久営業所	埼玉ブランチ	南信営業所	北関東営業所	新潟営業所	山梨出張所	合計
従業員 名	41	21	7	1	6	3	6	1	86
延べ床面積 m	2,477	289.4	91.7	9.9	79.3	128	122	38.9	3235.9

※増築後145.8

(6) 事業年度 9月1日～8月31日

□.認証・登録の対象組織・活動

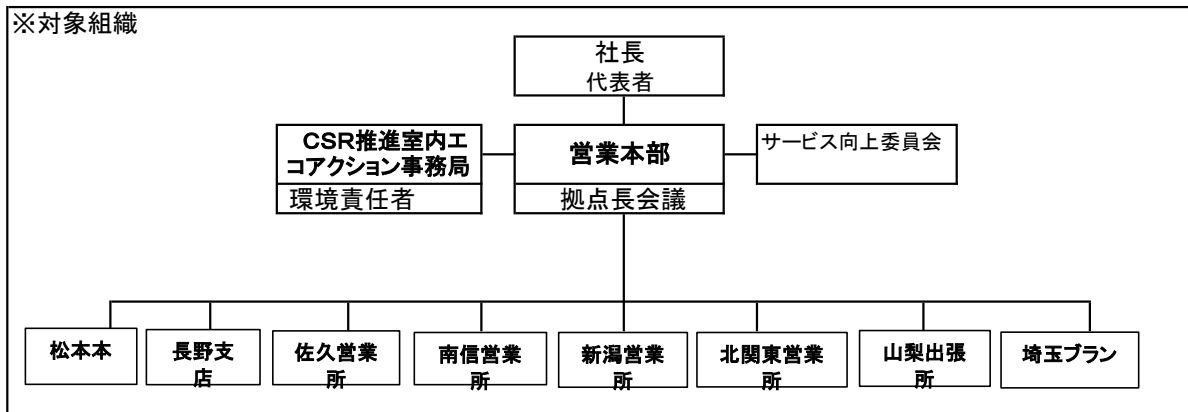
登録組織名: 高山理化精機株式会社
 対象事業所: 本社、長野支店
 佐久営業所
 南信営業所
 新潟営業所
 北関東営業所
 山梨出張所
 埼玉ブランチ

3.事業や製品(商品)の紹介



活動: 電子計測器・理化学機器・分析機器・試験機等及びシステム・工業用機械の販売、計測器・試験機の校正・保守サービス

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動実績の確認・評価 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
エコアクション事務局	・環境実務責任者の補佐、CSR推進室内エコアクション事務局 事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) ・従業員に対する教育訓練の企画と実施・記録作成 ・必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・試行・訓練を実施、記録の作成
拠点長会議	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5.主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年	2023年半期終了時
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	364,419	433,614	225,645	
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	kg	9,378	13,444	5,939	
産業廃棄物排出量	kg	3,504	3,570	1,773	
水使用量	m ³	989	989	418	
※二酸化炭素排出係数		0.472	kg-CO ₂ /kWh	2017年中部電力の調整後の係数	

6.環境経営目標及びその実績

数値目標:○達成 ×未達成

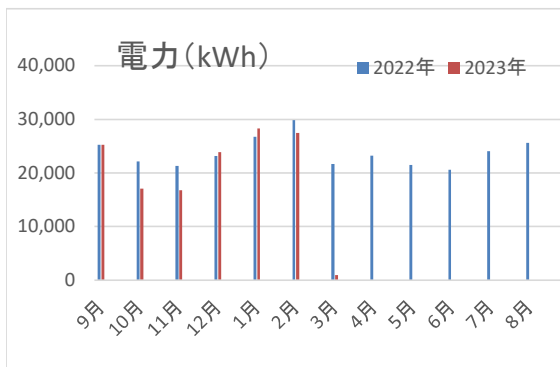
年 度		2022 年	2023年		評 価	2024年	2025年	注:残り1/2期 有で計算
項 目		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)	
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	134,663	133,316	65,995	○	131,970	130,623	目標66,658
	基準年度比	100%	99%	49%	○	98%	97%	-1%
	(KWh)	285,303	282,450	139,820	○	279,597	273,976	141,225
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	19,858	19,659	18,600	X	19,461	19,262	X予想 4月に 500Lの為
	基準年度比	100%	99%	94%	X	98%	97%	-5%
	(L)	7,975	7,895	7,470	X	7,816	7,736	
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	828	820	406	○	811	803	目標410
	基準年度比	100%	99%	49%	○	98%	97%	-1%
	(kg)	276	273	135	○	270	268	137
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	278,265	275,483	140,644	X	272,700	269,918	目標 137,742
	基準年度比	100%	99%	51%	X	98%	97%	-1%
	(L)	119,876	118,677	60,597		117,478	116,279	59,339
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	432,786	428,458	225,645	X	424,130	419,803	214,229 X
一般廃棄物の削減(可燃)	kg	4,531	4,485	1,793	○	4,440	4,395	目標2,243
	基準年度比	100%	99%	40%		98%	97%	-20%
産業廃棄物の削減	kg	3,570	3,534	1,773		3,498	3,463	目標1767
	基準年度比	100%	99%	50%	X	98%	97%	-1%
水道水の削減	m ³	1,151	1,140	418	○	1,128	1,117	目標570
	基準年度比	100%	99%	36%		98%	97%	-27%
化学物質の適正管理		適正管理	適正管理	適正管理	○	適正管理	適正管理	○
環境に配慮した販売活動	(次項による)							

7.環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画(全社)

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた(90%以上)△まあまあできた(70%~90%)×できなかった(70%未満)

電力による二酸化炭素削減	○	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	電力は11月12月と低減、1月2月と増加した。弊社の電力消費の最大要素は松本本社の事務所の空調と技術部恒温室設備(空調機)などが大きい。累計では昨年電力使用量を下回っているが、今後夏場の増加が予想される。松本は高圧受電でピーク電力契約の為注意喚起を行い、ピーク低減できるよう取組んでいきたい。
・空調温度の適正化(冷房28℃暖房23℃目安)	○	
・不要照明、休憩時の消灯	○	



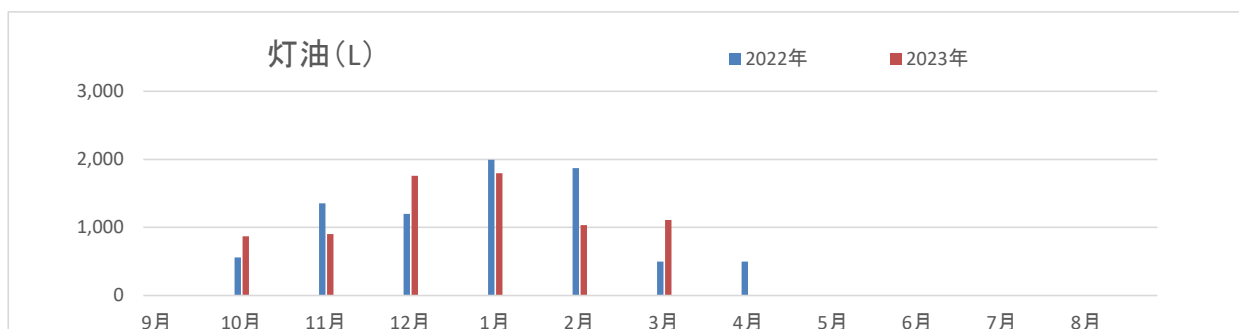
取組紹介欄



電力の削減で倉庫荷捌き場所の灯油暖房併用しています。電力削減に寄与している。弊社は人数と設備面から松本本社の電力量が大きく、高圧受電の事業所である。ピーク電力の低減もコスト観点で重要な為デマンド監視機器を利用してアラート管

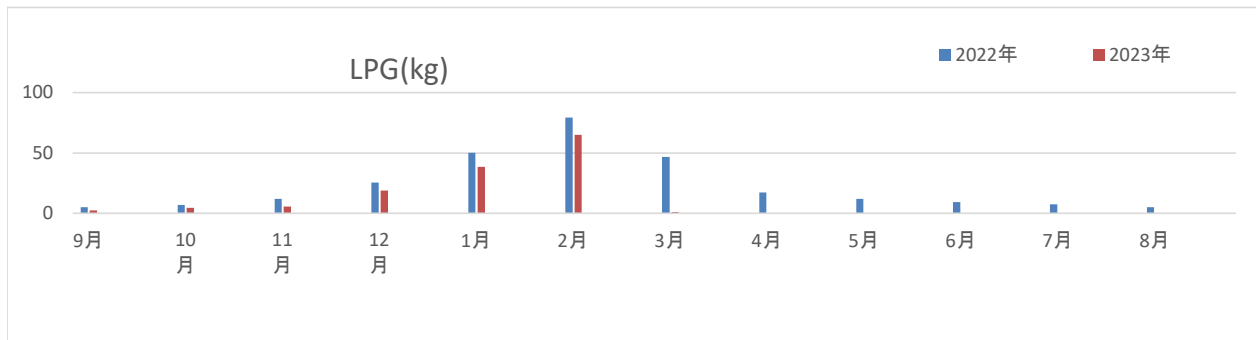
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
2022年	25,252	22,189	21,324	23,158	26,740	29,886	21,689	23,257	21,501	20,611	24,070	25,626	285,302.7
2023年	25,251	17,096	16,807	23,902	28,316	27,470	978	0	0	0	0	0	139,819.6

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	一昨年の電気代高騰の影響で、今季もコスト面から電気より灯油暖房を推奨せざるを得なかった。機器管理、設定温度や不要時の停止などで気を付けて稼働したが気温変動の要素も大きく前年オーバー推定です。労働衛生面から事務所や作業場の適正な温度維持も必要なのでジレンマだが、ウォームビズ&クールビズ取組んでいる。
・暖房機器の管理(暖房時23℃目安)	○	
・暖房機器の点検	○	



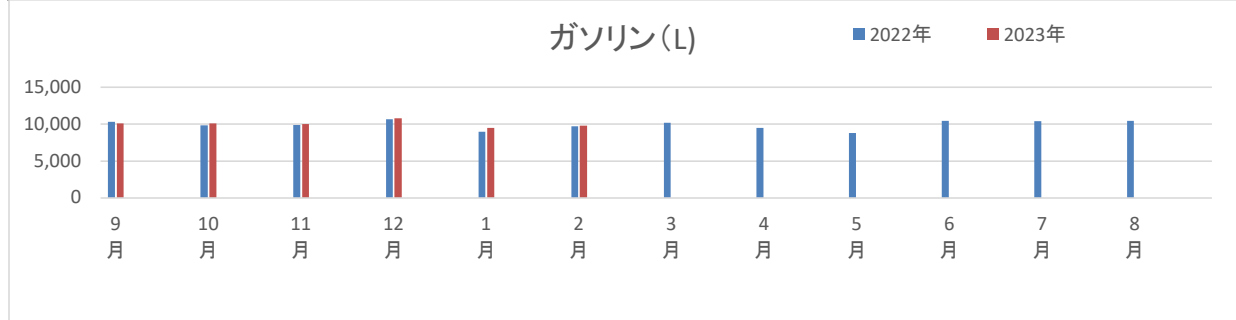
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
2022年	0	560	1,355	1,199	1,992	1,869	500	500	0	0	0	0	7,975
2023年	0	866	904	1,758	1,797	1,035	1,110	0	0	0	0	0	7,470

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	LPGについて 前年データや目標値を下回る事ができた。弊社は新潟営業所の暖房の割合が大きい、賃貸事務所のため制約がありやむを得ないが現場でも適正使用を心がけていただいている。その他の拠点は給湯器使用しかない。
・適正使用	○	

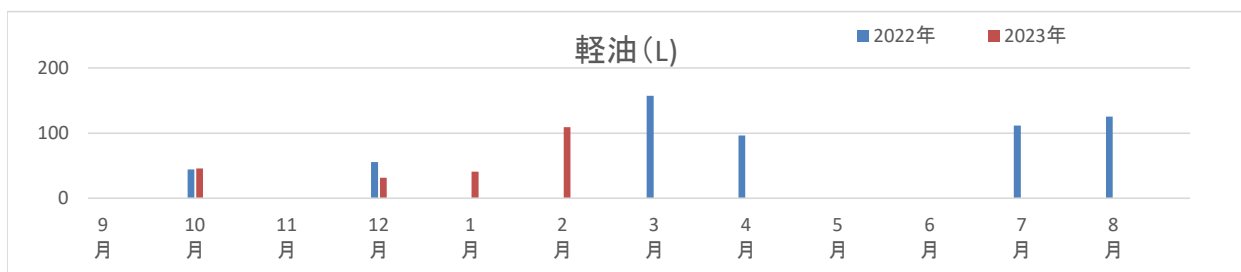


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
2022年	5	7	12	25	50	79	47	17	12	9	7	5	276.02
2023年	2	4	5	19	39	65	1	0	0	0	0	0	135.46

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	X	残念ながら上半期では昨年実績と目標値を僅かにオーバーした(+1%)。営業やサービス部門の実稼働がアフターコロナで活動増加しているためと思われる。売上業績も上向きなものと人員数も僅かずつ増加していくので制約を付けることは難しいが、必要のみのアイドリング、EVやHV車の導入などで維持していきたい。
・効率的ルートと運用で営業活動推進	○	
・効率を考えて不要時には郵送配送など代替化	○	

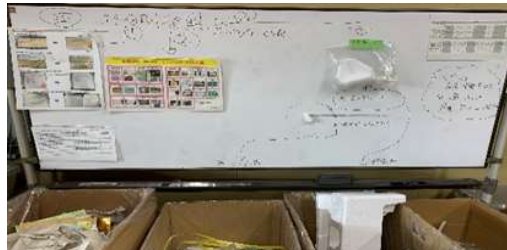
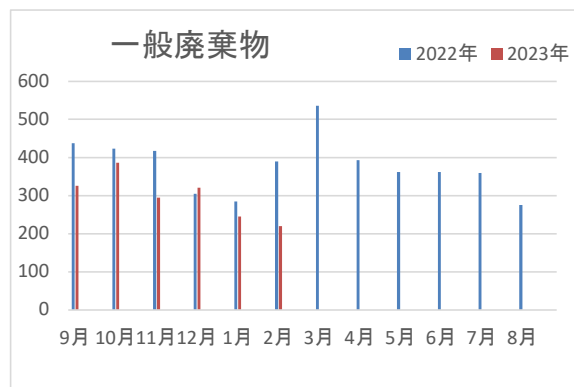


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
2022年	10,352	9,863	9,878	10,667	8,948	9,700	10,203	9,525	8,813	10,465	10,433	10,437	119,284.7
2023年	10,110	10,112	10,043	10,799	9,493	9,812	0	0	0	0	0	0	60,369.203



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
2022年	0	45	0	56	0	0	157	97	0	0	112	126	591.07
2023年	0	46	0	32	41	109	0	0	0	0	0	0	227.64

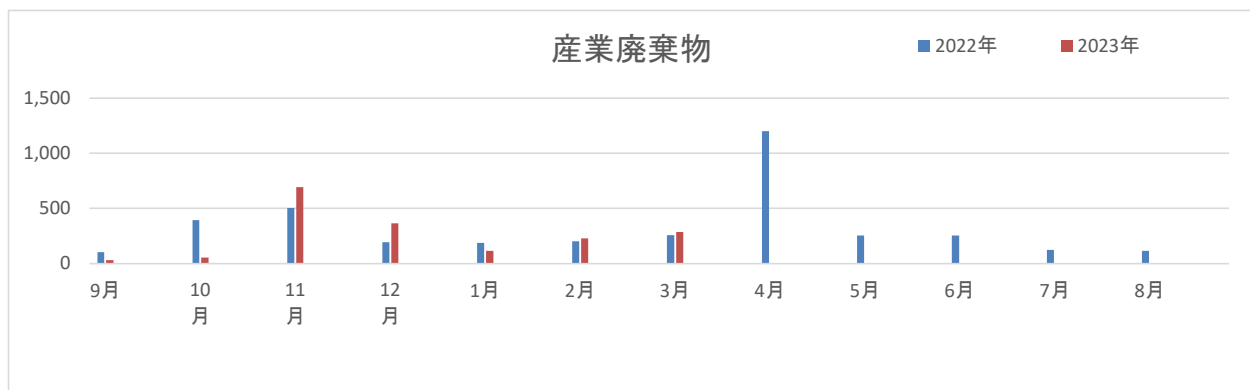
一般廃棄物の削減(可燃)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	一般廃棄物は昨期を下回った、昨期はコロナ影響があり事務所や社内にいる時間も長かった事とかたづけを頑張った結果かもしれない。今期はほぼ月次で低減しているの、分別も実施できていると考えるし、これが平常状態かと思われる。
・分別の徹底による可燃ゴミの低減活動	△	
・梱包材の再利用、	○	
・カタログチラシ類の低減活動、追加カレンダー削減	○	



倉庫担当者に分別方法を掲示板にしてもらいました。現物サンプルを掲示板に貼り付け、分別方法を分かり易くしました。

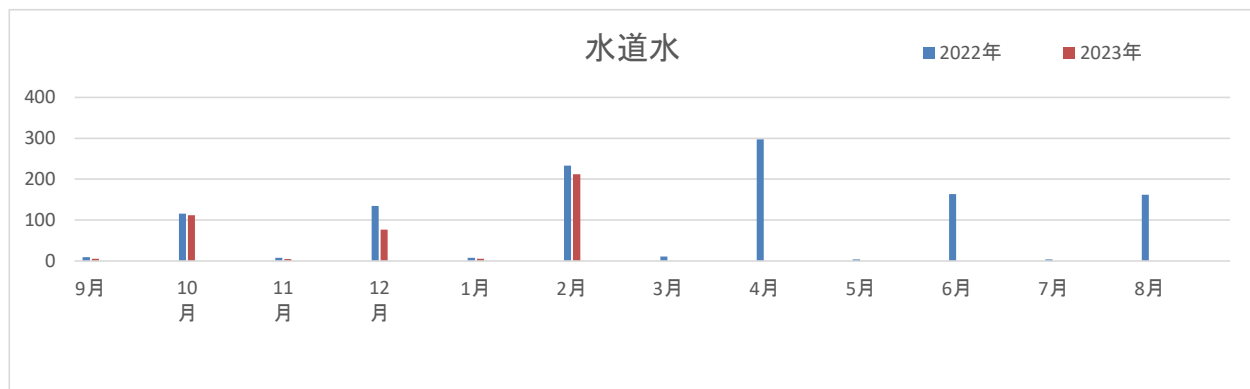
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
2022年	438	424	417	305	285	390	536	393	362	362	359	276	4545.5
2023年	325	386	295	321	245	220	0	0	0	0	0	0	1792.6

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	相変わらずまとめて廃棄処分しなくてはならない現状があり、平滑化が難しく、月次によって変動が大きい(大きい月は金属ゴミ、複合ゴミであって毎月業者引取りしていない為)が、累計としては10%程低減できている。(売上数字に依存)
・産廃物の素材別ボックスの設置	○	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
2022年	103	394	503	193	185	202	258	1,201	254	254	123	117	3785.9
2023年	32	53	693	363	117	227	287	0	0	0	0	0	1773.1

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	弊社の上水利用は、主に松本本社の技術部恒温室の設備用だと思われます。特に冬場乾燥している時期の加湿供給量が多いと考えます。今期は目標以下となりました、売上にも関連するので適切な維持管理に努めます。
・節水意識への注意喚起、掲示など	○	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
2022年	9	116	8	135	8	233	11	297	4	164	4	162	1151.45
2023年	6	112	5	77	6	212	0	0	0	0	0	0	418.15

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・毒劇物の管理の徹底（販売のみの為数値管理しない）	○	毒劇物管理責任者と共にコンプライアンスの面で共同歩調をとっている。また震災対応やBCPの観点からも管理上重要視している。有効な管理活動と教育啓蒙を今後も実施していきたい。

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・コピー用紙の再生紙使用比率の向上	○	コピー用紙（PPC）の再生紙比率の向上は、本社にて集中購入後拠点配布をしている。そのため特別用途以外は再生紙へ切り替えをしている。今後はコピー用紙以外でもグリーン商品選択をし、積極的に取組みたい。会社案内等の印刷物はバタフライマークやFSC認証のものを採用している。
・コピー用紙以外のグリーン商品選択と情報提供	○	

取組紹介欄



昨年度導入し、エプソン製高速インクジェット複合機は重宝しています。およそ35人がLAN経由で1台に接続してメインプリンターとして利用しFAXも新たに利用できるように設定しました。これにより出力枚数が増加しましたが電力低減に寄与しております。（レーザープリンターはほんの一部で利用せざるを得ない場合のみ利用しています）電力低減に寄与しています。また消耗品コピー用紙の再生PPC用紙 グリーン対応品の普及取組をはかっていますが96%以上となり 計画以上に置換え取組できています。グリーン購入品の定着と普及は今後さらに取組む予定です。

環境に配慮した販売活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・SDGsに対する取組:情報入手	○	今期は一部の大手ユーザー様からSCOPE1, 2の活動に対する要望がでてきている環境活動とその他側面からSDG'sの取組みも必要であり、主要要旨3つの項目をすり合わせをしている。
・CSR 省エネ 環境ネタの情報入手と提案	○	

取組紹介欄



緑化対策として取り組んだゴーヤ、アサガオによる緑のカーテンは立派な緑のカーテン(写真:長野支店)となり、ゴーヤの収穫をすることができました。各社員が家庭菜園などで培ったノウハウを持ち寄って来年度、再来年度には大きく育ったゴーヤを多くの社員に配布出来るよう継続して取組んで行きたいと思ひます。

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・業務改善提案件数(各拠点月1件)	△	業務改善提案の取組みは一部の部門で定着しつつあり、徐々に提案数が増えてきているが拡大した拠点ではなかなか進まない所もある。今後も幅広いチョコネタOKとして啓蒙していきたい。今後社内の稟議決裁フローに業務改善項目を追加します。
・顧客満足向上	△	

◆各サイトの目標と実績・評価

松本本社		2021年	2022年			2023年	2024年
		(期)	(期)			(期)	(期)
		基準年	目標	実績	評価	目標	目標
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	114,062	112,921	55,133	○	111,780	110,640
	基準年度比	100%	99%	48%		98%	97%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	12,002	11,882	11,163	○	11,762	11,642
	基準年度比	100%	99%	93%		98%	97%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	249	247	91	○	244	242
	基準年度比	100%	99%	36%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	102,009	100,989	53,787	X	99,969	98,949
	基準年度比	100%	99%	53%		98%	97%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	126,313	125,050	66,387	X	123,787	122,523
一般廃棄物(可燃物)の削減	kg	3,160	3,128	1,276	○	3,097	3,065
	基準年度比	100%	99%	40%		98%	97%
産業廃棄物の削減	kg	1,192	1,180	738	X	1,168	1,156
	基準年度比	100%	99%	62%		98%	97%
水道水の削減	m ³	986	976	344	○	966	956
	基準年度比	100%	99%	35%		98%	97%
化学物質管理		適正管理	適正管理	適正管理	○	適正管理	適正管理
評価: ※経営計画参照							
コメント							

長野支店		2021年	2022年			2023年	2024年
		(期)	(期)			(期)	(期)
		基準年	目標	実績	評価	目標	目標
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	8,291	8,208	4,454	X	8,125	8,042
	基準年度比	100%	99%	54%		98%	97%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	3,805	3,767	2,393	X	3,729	3,691
	基準年度比	100%	99%	63%		98%	97%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	9	9	1	○	9	8
	基準年度比	100%	99%	8%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	88,022	87,142	45,042	○	86,262	85,382
	基準年度比	100%	99%	51%		98%	97%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	100,118	99,116	51,889	X	98,115	97,114
一般廃棄物(可燃物)の削減	kg	788	780	341	○	772	764
	基準年度比	100%	99%	43%		98%	97%
産業廃棄物の削減	kg	1,918	1,899	908	○	1,880	1,860
	基準年度比	100%	99%	47%		98%	97%
水道水の削減	m ³	55	54	27	○	54	53
	基準年度比	100%	99%	49%		98%	97%
化学物質管理		適正管理	適正管理	適正管理	○	適正管理	適正管理
評価: ※経営計画参照							
【コメント】							

佐久営業所		2021年	2022年			2023年	2024年
		(期)	(期)			(期)	(期)
		基準年	目標	実績	評価	目標	目標
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	3,083	3,052	1,717	x	3,021	2,991
	基準年度比	100%	99%	56%		98%	97%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	1,808	1,790	1,282	?	1,772	1,754
	基準年度比	100%	99%	71%		98%	97%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	17	17	0	○	17	17
	基準年度比	100%	99%	0%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	20,007	19,807	9,893	○	19,607	19,407
	基準年度比	100%	99%	49%		98%	97%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	24,898	24,649	12,892	x	24,400	24,151
一般廃棄物(可燃物)の削減	kg	259	256	66	○	254	251
	基準年度比	100%	99%	26%		98%	97%
産業廃棄物の削減	kg	204	202	25	○	200	198
	基準年度比	100%	99%	12%		98%	97%
水道水の削減	m ³	37	37	14	○	36	36
	基準年度比	100%	99%	38%		98%	97%
化学物質管理		適正管理	適正管理	適正管理	○	適正管理	適正管理
【評価】※経営計画参照							
【コメント】							

南信営業所		2021年	2022年			2023年	2024年
		(期)	(期)			(期)	(期)
		基準年	目標	実績	評価	目標	目標
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	2,831	2,803	1,553	X	2,774	2,746
	基準年度比	100%	99%	55%		98%	97%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	2,109	2,088	3,583	X	2,067	2,046
	基準年度比	100%	99%	170%		98%	97%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	59	58	12	○	58	57
	基準年度比	100%	99%	20%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	25,757	25,499	12,719	○	25,242	24,984
	基準年度比	100%	99%	49%		98%	97%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	28,647	28,360	14,284	X	28,074	27,788
一般廃棄物(可燃物)の削減	kg	209	207	74	○	205	203
	基準年度比	100%	99%	35%		98%	97%
産業廃棄物の削減	kg	78	78	31	○	77	76
	基準年度比	100%	99%	40%		98%	97%
水道水の削減	m ³	34	34	15	○	33	33
	基準年度比	100%	99%	44%		98%	97%
化学物質管理		適正管理	適正管理	適正管理	○	適正管理	適正管理
【評価】※経営計画参照							
【コメント】							

新潟営業所		2021年	2022年			2023年	2024年
		(期)	(期)			(期)	(期)
		基準年	目標	実績	評価	目標	目標
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	2,605	2,579	1,421	X	2,553	2,527
	基準年度比	100%	99%	55%		98%	97%
灯油による二酸化炭素削減:新潟は灯油使用無し	kg-CO2	0	0	0	NC	0	0
	基準年度比	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO2	465	460	287	X	455	451
	基準年度比	100%	99%	62%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	23,952	23,712	10,209	○	23,473	23,233
	基準年度比	100%	99%	43%		98%	97%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	26,557	26,291	11,630	○	26,026	25,760
一般廃棄物(可燃物)の削減	kg	115	114	35	○	113	111
	基準年度比	100%	99%	31%		98%	97%
産業廃棄物の削減	kg	178	176	65	○	174	172
	基準年度比	100%	99%	37%		98%	97%
水道水の削減	m³	26	26	12	○	25	25
	基準年度比	100%	99%	46%		98%	97%
化学物質管理		適正管理	適正管理	適正管理	○	適正管理	適正管理
【評価】※経営計画参照							
【コメント】							

北関東+山梨+埼玉		2021年	2022年			2023年	2024年
		(期)	(期)			(期)	(期)
		基準年	目標	実績	評価	目標	目標
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	3,792	3,754	1,717	○	3,716	3,678
	基準年度比	100%	99%	45%		98%	97%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO2	134	133	179	X	132	130
	基準年度比	100%	99%	133%		98%	97%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO2	29	29	16	X	28	28
	基準年度比	100%	99%	54%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	18,096	17,915	8,973	X	17,734	17,553
	基準年度比	100%	99%	50%		0.98	0.97
二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	22,022	21,802	10,870	X	21,582	
一般廃棄物(可燃物)の削減	kg	0	0	0		0	0
	基準年度比	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!
産業廃棄物の削減	kg	0	0	0		0	0
	基準年度比	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		#DIV/0!	#DIV/0!
水道水の削減	m³	13	13	6		13	13
	基準年度比	100%	99%	46%		98%	97%
化学物質管理		適正管理	適正管理	適正管理	○	適正管理	適正管理
【評価】							
【コメント】							

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス等）
水質汚濁法	灯油タンク（緊急時の処置）
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機
毒物・劇物取締法	施錠管理・販売管理・表示
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

食品リサイクル法の事業者ごとの基準実施率は達成しています。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。2022/10/1確認 2023/4/20確認 2024/4/30確認

□外部からの環境上の苦情・要請等

2023年9月から2024年2月までの期間、外部からの指摘及び苦情はありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生

■実施日： 2023/4/24 実施

■実施場所 松本本社

■参加者： 自主防災消防組織 隊長伊東克英、副隊長山本和男、総務管理班矢島健太郎、通報連絡および避難誘導班 天見美香、消火班小澤由幸、搬出班森口祥子ほか25名

■実施内容： ☒通報訓練 ☒避難訓練 ☒消火訓練 ☒劇毒物対応 ☒搬出訓練

AM9時30分に火災発見として上記5訓練を実施。

校正室からの火災を想定した防災訓練を実施し、通報訓練、避難訓練、消火訓練、劇毒物対応、搬出訓練について緊急時の対応方法を確認した。松本広域消防局の指導により、応急手当・AED使用簡易訓練も実施、注意点説明などを受講した。

■評価： 上記5つの訓練としては大きな問題なし。

手順書の変更の必要性 ☐あり ☒なし

今回は松本広域消防局派遣で上記5訓練を実施した。今回は応急手当と短縮版のAED講習を実施した、AED講習は初めての方も多くて確認でき有意義であった。

■実施状況の様子



＜情 報＞		＜見直し・指示＞	
◇自社を取り巻く環境問題の変化（社会情勢、利害関係者） 継続：CSRの取組み調査 新規：新型コロナ対策で業務や営業手法の変化		◇環境方針 継続：EA21の拡大活動を通じ、環境保全に留意して未来への持続性のある企業活動を推進する。SDGsの取組も要素に入れる	
◇環境経営目標・計画の達成状況 上半期のみ総合エネルギー消費量、灯油、自動車燃料、産廃物は困難：電力、LPG、水道量、一般廃棄物は達成		◇環境経営目標・環境経営計画 EA21拠点拡大済：松本と長野は一旦レビューした。目標と計画は維持して	
◇その他 緊急事態対応訓練の実施について（松本本社4/24）		◇実施体制他 応急手当訓練実施、地震と水害対策でハザード対応拡大するBCP観点で	
2023年5月に新型コロナについては、5類感染症対応に移行して文字通りの”Withコロナ” ”After コロナ”となり私達の日常も社会や経済活動は回復しています。 半面昨年もコメントした通り、世界の各地で紛争が絶えずに発生しているその影響下 エネルギーの電力、灯油や石油価格も高値安定となっています。 弊社はおかげさまで会社業績、売上業績共に順調に推移してコロナ不景気から上昇に転じ、その流れを継続する事ができました。これも継続的なお取引いただいているお客様およびご支援いただいている仕入先様のおかげで達成ができたものであります。昨今で私達が置かれている立場はお客様のサプライチェーンの中に組み込まれております。このサプライチェーンではご要求される様々な活動、ゼロカーボン、カーボンニュートラルといったCO2排出量削減活動 そして人権やジェンダーレス活動このような活動は最終的にはSDGsの枠組みとして集約されています。 私達の環境活動は、4年前からエコアクション21の段階的認証を始め 昨年に全拠点で認証取得を完了しましたが、さらにSDGsの要素を取入れてエネルギー問題、環境側面のみならず、会社の業務を通してそして一人の個人として私達ができる事をひとつずつ取組むよう努力してまいります。 最後に元旦に能登半島地震に被災された方々にはお見舞い申し上げます、私達も北信越地区に属していますのでBCP観点から震災やハザード対応を進めて参ります。			
環境経営方針		☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画		☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制		☒ 変更なし	☐ 変更あり

口これまでの環境活動の紹介

弊社のコア事業は測定器、試験機、分析機器の販売とアフターメンテの領域であり自ら生産活動はありません。販売納入後に稼働している機器や装置は稼働時当然ながら電力や水等のエネルギーを必要とします。ここで必要となるエネルギーは過去の製品と比較して高効率、小型化、省エネを実現できている場合があたりまえです。例としてはインバーター搭載の環境試験機、スイッチング化した直流安定化電源などあまたに存在しています。私達は、こうした旧製品からの入替え時にあるいは増設時に環境配慮型のモデルをご提案することで省エネによる稼働エネルギーとコストの低減にお役立ちすることができます。また電力量や部屋の温度湿度といったエネルギー要因を測定する製品も販売しています。積算の電力値や待機電力の一層の低減、エアコンなど空調の適正把握で有効活用いただいております。私達の取組みですが、昨期全拠点でEA21認証取得完了しました、また電力使用量をWeb化で容易に数値把握が可能となりました。松本本社は高圧受電事業所でデマンド管理によりピーク電力低減を実践中、また紙の印刷物：営業案内の改定版をより環境に配慮した取組みでFSC & バタフライ認証マーク付きに切替えました。活動取組みとして継続中の弊社主催Webセミナーを昨年冬に配信できました。今回内容1：環境測定器メーカー：スリック様 2：試験機メーカー：IMV様 3：測定器メーカー：小野測器様 各プログラムは弊社担当と先方様と共に近年話題の輸送効率の問題対策及び自動化に有効なツールや事例紹介、CSRやSDGsに向けての取組みをご紹介ができました。こちらの動画は弊社のWebサイトにアップしています、今後も以上のDX利用などを有効展開してまいりたいと思います。

口編集後記

弊社は昨期に全拠点での認証を得ることができました。ようやくスタートラインに立てましたので、ここからが本当の取組みになるかと思います。また近年は顧客からの環境活動の要求も厳しくなっておりますので、弊社の活動状況をしっかりと把握し、弊社としての取組みを検討したいと思います。矢島 今年も猛暑になりそうとのことで消費電力が増えそうな予感ですが、女性社員の制服継続を廃止して服装の調節が効くようになったことで電力使用量の抑制につながるかちょっとだけ期待しています。数年継続中のゴーヤのカーテン作りや事務所内の 生け花や観葉植物のお世話をしてくださっている皆さんに感謝しつつ、より一層涼やかな職場づくりを目指して夏を乗り切りたいと思います。深澤 昨期に弊社はエコアクション21の段階的認証を完了して、全拠点で認証取得となりました。ひと段落ついている間もなく、環境関連ではサプライチェーン排出量SCOPE1、2の算出やSBTに向けての要望が相次いでいます。それ以外に取組む要素も増加していますが、見るとほとんどがSDGsに紐づく内容である事になっています。私達が日々一つ一つの取組みが繋がっていている事で、”社会の大きな流れがそこにあるのだなあ”と改めて感じ入ってしまうこの頃です。赤羽